

自衛隊舞鶴基地の強化に反対する申し入れ

日本共産党・革新共同京都府議会議員団

団 長 西 山 秀 尚

一九八三年四月六日

京都府知事

林 田 悠 紀 夫 殿

今回、海上自衛隊第三護衛隊群旗艦として護衛艦「もちづき」(三、一〇〇トン)が舞鶴に配備された。これはわが国の持つ最大の軍艦であるだけでなく無人対潜ヘリコプター「ダッシュ」、アスロック、ポフォース対潜ロケット、三連装短魚雷発射管(二基)その他米海軍がソ連原潜を目標に開発した新鋭電子兵器を多種類にわたって装備したわが国最強の対潜戦力である。現在舞鶴市雁又で建設がすすめられている実装水雷の調整装着施設がこの「もちづき」を先頭とする艦隊に実弾を供給する目的と機能をもつものであることは言うまでもない。

日本海側唯一の軍港である舞鶴基地の、このような実戦機能の強化が、中曽根首相の「米国有事の際の四海峡封鎖、列島不沈空母化」という対米公約の具体化であることは明白であり、これは国民の平和へのねがいを踏みにじるものである。

去る二月定例議会においてわが議員団は、舞鶴市雁又の国有地を実装水雷調整装着施設とするために自衛隊所管とすることに林田知事が同意を与えていたことを明らかにし、その同意を撤回しよう求めた。しかし林田知事は言を左右にして撤回を拒否したのである。

知事が「特段のことはない」と称して与えた同意によって、舞鶴基地の強化・戦争準備は急速にすすめられているのであり、府民の安全は現実の重大な脅威にさらされている。

日本共産党・革新共同議員団は、舞鶴基地がソ連潜水艦を目標とした実戦基地として急速に強化されていることが明白となった今日、あらためて林田知事がさき与えた同意を撤回し、府民の安全を守る立場で舞鶴基地の強化に反対されるよう強く申し入れるものである。

以上

申し入れ書

京都府宇治市の幼稚園児から発生した赤痢は、宇治市各地、京都市・長岡京市・向日市へと広がり、京都府内で患者数・百数十人を数えるに至った。関係諸機関において対策が進められているが、梅雨入り直前という事情にかんがみ、いくつかの緊急を要する諸点につき申し入れるので、早急に検討の上、措置されたい。

記

一、不足している隔離ベットの確保のために、国立病院・療養所・公立病院をはじめ、各医療機関の協力を得て万全の対策をとること。必要な場合は近接の府県の協力も求めること。

二、医療従事者の応援、医薬品の確保についても対処すること。

三、現在、赤痢の発生していない近接の自治体においても、不安をもつ人については、保健所等において、検便が無料で受けられるようにすること。

四、予防の徹底を図るため、啓蒙活動を強化して正しい知識を普及すること。特に、現在発生している赤痢菌Ⅱ「ゾンネDI・DII型」は比較的軽いもので、必要な医学的措置をすれば問題が残らないことの周知徹底を図ること。

五、幼稚園・小学校等の休園・休校や、患者の看護・介護等で父母に負担がかかっている。法定伝染病であるという性格から、行政の側から該当者の各事業所に対して、勤務上・給与上の特別措置をとるよう要請すること。

六、生鮮食料品店、環境衛生関係業者、観光業者等に与える影響について実態調査をし、必要な援助策を講ずること。

六、汚染源・感染ルートの解明をいそぎ、隠さず明らかにし必要な措置をすること。

以上

京都府知事 林 田 悠 紀 夫 殿

一九八三年五月二十五日

日本共産党京都府委員会  
日本共産党・革新共同府議会議員団  
日本共産党宇治市会議員団  
日本共産党長岡京市会議員団  
日本共産党向日市会議員団